



ザリガニは何を食べるの

子どものころは、水草や「も」を食べる

ザリガニの赤ちゃんは、お母さんのおなかの、腹きやくにくっついてた卵からかえり、その後3週間くらい、お母さんのおなかの毛にくっついて、体内の養分でくらしています。

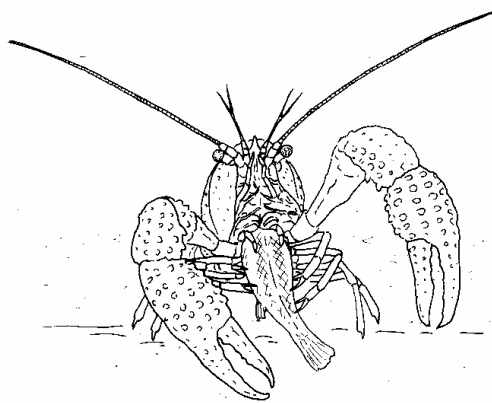
やがて、お母さんからはなれると、ただよっている、「も」のくずや、小さいプランクトンなどを食べはじめます。少し大きくなると、やわらかい水草や、ユスリカの幼虫や、弱ったミミズ、死んだ小魚などを、小さいはさみでむしって食べます。

人間と同じように、何でも食べる

おとなのザリガニになると、弱ったり、死んでしまったフナやメダカ、巻き貝、ヤゴのような水生こん虫なども食べるようになります。ザリガニは、りっぱなはさみをもっていますが、生きた魚や、すばやく動くこん虫をつかまえられるほど、体がすばやく動かないのです。水草や「も」も食べます。

飼うときのえさ

小さく切った魚の切り身や、にぼし、かまぼこ、貝のむき身、ミミズ、ゆでたホウレンソウやサツマイモ、野菜くず、ペットショップで売っている水草や「も」、パン、ご飯など、何でも食べます。（監修・中山 周平）



食べるときは、小さいはさみのついた歩きやくを使う

